〈 校 訓 〉		〈生活指針〉
創　造 敬　愛 鍛　錬	鹿屋東中学校	形 をつくり 心 を入れて 姿 となす

鹿児島県鹿屋市笠之原町２９０２番地　☎０９９４－４４－８５４１

いよいよ、今日から２学期が始まります。夏休み、皆さんがいない静まり返った教室を見て、改めて学校にとって、教職員にとって、皆さんの存在の大きさを感じることでした。学校の主役は、生徒の皆さん一人一人です。だからこそ、皆さんが楽しいと思える学校になるよう一緒に様々な活動等に取り組んでいきたいと思っています。でも、毎日の生活の中で、悩んだり、不安を感じたりすることがあるかもしれません。そんな時は、一人で悩まず、家族、先生、友達等、誰かに相談してください。皆さんを心の支えにしている人がいることをどんな時でも決して忘れないでください。皆さん一人一人は、家族、先生、友達等の宝なのです。

がっちゅう生　夏のあしあと

約 40 日間の夏休み、みなさんはどのように過ごしましたか。様々なステージで輝き、飛躍を果たした「がっちゅう生」の様子を紹介します。

その１　県・九州・全国総体

地区から羽ばたいた「がっちゅう生」たちが日頃の鍛錬の成果を県・九州・全国の舞台で思う存分発揮してきました。

①　県総体等　　※〇数字は学年

陸上部	女子２年800m２位　中村美璃椰② 男子共通800m１位　田中琉心③ 女子低学年80mＨ２位　土屋里穂②	弓道部	女子団体４位 女子個人５位　倉岡璃子③
剣道部	男子団体：ベスト８ 男子個人：河野鎧李③ベスト４ 小村太陽輝③１回戦敗退	バドミントン	ダブルス 持留一愛③・橋口ゆい②組 ２回戦敗退
男子バレー部	１回戦　２－１　宮之城中　勝利 ２回戦　０－２　清水中　敗退	男子ソフトテニス部	団体戦　１回戦　０－３　重富中　敗退 個人戦　全ペア敗退
女子バレー部	１回戦　２－０　伊集院北中　勝利	女子ソフトテニス部	団体戦　３位（決勝リーグ進出）
男子バスケ部	１回戦 ４７－５９　古仁屋中　敗退	女子バスケ部	１回戦　61－34　明和中　勝利 ２回戦　42－36　川内中央中勝利 ３回戦　41－20　蒲生中　敗退 ベスト８
柔道部	男子団体１回戦　１－３　里中敗退 女子個人階級別４位　立神愛環②		
サッカー部	１回戦　０－８　国分中　敗退	水泳部	女子50m自由形４位　金川弥英③ 男子200m個人メドレー９位 男子200mバタフライ６位　宮下七海①
男子卓球部	団体戦　ベスト８ 個人戦　敗退		
女子卓球部	団体戦　ベスト８ 個人戦　準優勝　田尾花佳②	吹奏楽部	県吹奏楽コンクール銀賞 県中学校音楽コンクール「夏の祭典」　銀賞
硬式テニス	ダブルス　３位 富来恭香③・藤本百花①組	男子ソフトボール	オール肝属中学校男子ソフトボールクラブ 準優勝　山口遥生③、立切謙成①所属
ビーチバレー（男子）	優勝 柏木陸歩③、真川慎之介③ペア	女子ソフトボール	樋渡ドリームガールズ鹿児島 準優勝　津田紗雪②所属

②九州総体及び全国総体等

陸上部	九州総体（沖縄県）→台風接近のため中止 女子 800m中村美璃椰②、男子 800m田中琉心③、女子 80mＨ土屋里穂② 全国総体（愛媛県）→男子 800m田中琉心③　予選敗退（144 人出場）
剣道部	九州総体（福岡県）→男子個人：河野鎧李③　予選リンク敗退
女子ソフトテニス部	九州総体（大分県）→個人戦　竹下真由③・園田菜保③組　予選リンク敗退
女子卓球部	九州総体（沖縄県）→個人戦　田尾花佳②　１回戦敗退
硬式テニス	九州総体（鹿児島市）→ダブルス　富来恭香③・藤本百花①組　１回戦敗退
男子ソフトボール	九州総体（熊本県）→第４位 オール肝属中学校男子ソフトボールクラブ（山口遥生③、立切謙成①）
女子ソフトボール	九州総体（熊本県）→第３位　樋渡ドリームガールズ鹿児島（津田紗雪②所属） 全国総体（香川県）→１回戦　７－３　愛媛 ASTRAIA　勝利 ２回戦　０－４　立正中（東京）　敗退
ビーチバレー（男子）	全国大会（愛知県）→２位トーナメント　準優勝（全国 14 位） 柏木陸歩③、真川慎之介③ペア

その２　かのや夏祭り

新型コロナの影響から開催を見合わせてきた「かのや夏祭り」が今年、４年ぶりに帰ってきました。準備期間も少なかったため、「東中としての参加は難しいのでは…」という御意見もあった中で、「生徒たちの思い出作りのため」にということで、ＰＴＡ執行部・おやじの会の皆様を中心に踊り連への参加をしました。

準備・練習時間も短く、夏祭り当日も機材トラブルや突然の大雨など困難もありましたが、参加者みんなで美術部の２年生４人（本地歌恋さん・淺井乙愛さん・有川美乃里さん・今城陽菜さん）がデザインしたＴシャツを身にまとい、思い出に残る「かのや夏祭り」になったのではないでしょうか。

ＰＴＡ執行部をはじめ、御指導いただいた中原昭子先生、おやじの会の皆様、ご協力いただいたすべての皆様、本当にありがとうございました。

その３　かのや未来創造プログラム　- 平和の花束２０２３ -

８／１０（木）に、リナシティかのやにて「かのや未来創造プログラム - 平和の花束２０２３ -」のセレモニーが開催され、本校からも生徒・教職員・保護者それぞれの代表が参加しました。

その中で平和に関する講演とともに、平和へのメッセージの授賞式が行われ、本校からは英語部門で３年生の森山凜咲さんの「As long as we are alive」が優秀賞に選ばれました。また、日本語部門では、２年生の山口陽菜乃さんの「被爆地長崎を巡って」が学校代表作品に選ばれ、この作品については本人による朗読を録音したものが後日、ＭＢＣラジオ「平和の花束」（毎週木曜日 12:55～13:00）で放送される予定です。

その４　鹿屋市いじめサミット

去る７／２５（火）に、リナシティかのやにて「鹿屋市いじめサミット」が開催され、本校からも生徒・教職員・保護者それぞれの代表が参加しました。

市内小中学校の実践発表や鹿屋女子高演劇部によるいじめに関する演劇が披露され、その後のグループ協議では各学校の代表生徒が積極的に意見交換する場面も見られました。サミットの最後には「鹿屋市いじめゼロ宣言」が採択されました。

９／１～８は「いじめ問題を考える週間」です。今回のサミットや「鹿屋市いじめゼロ宣言」を踏まえ、いじめのない、いじめを許さない学校づくりに全校で努めていきたいと思います。

鹿屋市いじめゼロ宣言

- ○ あなたが遊びのつもりでも、傷つく人がいるんだよ。相手の気持ち考えて。
- ○ 負けないで。たえてるあなたが一番強い。今すぐ出してSOS。
- ○ 気付いてる？あなたの周りは大丈夫？ささいな変化に気付いてあげて。
- ○ 自分の言葉や行動に責任をもち、すべての人に感謝の気持ちをもとう。

意志を引き継ぎ　新たな東中へ

この夏、伝統ある東中にある変化がありました。これまで東中を支えてくれた人たちの意志をしっかりと引き継ぎ、新たな東中を創り上げたいものです。

変化１　正門から見る景色

正門からの景色　１学期

美術科　藏滿先生作

正門からの景色　２学期

変化２　生徒会長の引継ぎ

これまで第 37 代生徒会長を務めてきた３－７井上輝久さんの転出に伴い、副会長の３－５宮元美晴さんが生徒会長代行を努めることになりました。

７／２０（木）の終業式の後に、井上会長の退任のあいさつと感謝状の贈呈が行われました。

これまで全校生徒 948 人の先頭に立って引っ張ってくれた井上会長。その思いをしっかりと引継ぎ、宮元会長代行のもと、よりよい東中を全校生徒で創っていきたいものです。最後に、井上会長の退任のあいさつを一部抜粋して紹介します。

皆さんにとって東中とは、どのような場所でしょうか。

この東中は皆さんにとって大切な場所であることはもちろんですが、それ以上に、卒業生の先輩方にとっては大切な母校なのです。そして、その母校、つまり東中の良き伝統を守り、引き継いでいくのは、皆さん１人１人です。

最後に１つ、お願いをします。それは、「仲間と協力し、東中生活を楽しんでください。」ということです。いつか、私がまた東中に来た時に、皆さんの笑顔をまた見られることを、楽しみにしています。

これまで、本当にありがとうございました。鹿屋東中学校生徒会は、「生徒の、生徒による、生徒のための生徒会」です。

９月の行事予定

１日（金）	第２学期始業式
	ＳＣ来校（午後）
４日（月）、５日（火）	
	実力テスト（１，２年）
	第２回実力テスト（３年）
	※第１回共通実力テスト
７日（木）	職員研修（特別支援教育）
８日（金）	ＳＣ来校（午後）
９日（土）	土曜授業
	構成的グループエンカウンター
１１日（月）	職員会議（10 月行事）
１２日（火）	後期教育実習（～26 日）
１３日（水）	部活動休養日、キャプテン会議
１４日（木）	文化祭オーディション
１５日（金）	ＳＣ来校（午後）
２１日（木）	代議員会・学校専門委員会
	校内安全衛生委員会
２２日（金）	ＳＣ来校（午後）
２３日（祝）	秋分の日
	第 26 回吹奏楽部定期演奏会
	笠之原十五夜大綱引大祭
２５日（月）	第３回学力向上委員会、教科部会
２７日（水）	地区駅伝競走大会
２８日（木）	生徒会役員立候補者立会演説会
	ＰＴＡ執行委員会
２９日（金）	ＳＣ来校（午後）
３０日（土）～中間テスト前部活動休止（～３日）	

出校日や今日の始業式、登校の際に正門から見る景色の変化にどれだけの人が気付いたでしょうか。生徒玄関前のロータリーにあった東中のシンボルツリーともいえる大きな木をこの夏休み中に伐採しました。理由は左の写真の通り、木の内部が空洞になっており、台風等で倒壊してしまう危険性があったからです。

しかし、この決断は決して簡単なものではありませんでした。なぜなら、この大きな木にはこれまでの先輩方や保護者・地域の皆様の東中への想いがたくさんつまっており、この景色は東中ならではの景色だからです。関係の方々や学校運営協議委員、ＰＴＡ執行部の方々へ相談の上での苦渋の決断でした。

木はなくなってしまったかもしれませんが、そこにあった人の想いは変わりません。その想いをしっかりと引き継いで、みんなで新しい東中の歴史を刻んでいきましょう。